KIORITZ

取 扱 説 明 書

共立シュレッダー
HK600

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　次

はじめに　（頁）

１ 安全上のご注意 …… １

２ 仕様 …… ３

３ 各部の名称 …… ４

４ シールの貼付位置…… ５

５ 組立部品明細 …… ６

６ 組立方法 …… ６

７ 機能と操作 …… ７

８ 作業準備 …… ９

９ 始業前点検 …… ９

１０移動・設置 …… １０

１１作業 …… １０

１２点検・整備 …… １５

１３長期保管 …… １９

１４トラブルの
原因と対処…… ２０

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●この取扱説明書には危険防止事項、取扱注意事項、使い方、保守点検について重大な内容を記載してありますので必ず取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、記載事項を必ず守ってお使いください。
なお、搭載エンジンについては、別冊のエンジン取扱説明書を合わせてお読みください。

●この取扱説明書および別冊のエンジン取扱説明書は、お読みになった後、本機のそばに大切に保管され、いつでもご利用できるようにしておいてください。

●取扱説明書や本製品についてご不明な点や、不具合あるいは万一故障したり調子の悪い時などがありましたら無理に使用せずご購入先またはお買い求めの販売店までお問い合わせください。

●本製品は改良のため、仕様及び外観は予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

■本製品の規制について

●本製品は樹木・野菜茎（乾燥させた物）など植物専用の粉砕機です。それ以外の用途には絶対に使用しないでください。（ツル系・草等は処理できません。）

●本製品には、夜間作業用のライトは装備されておりませんので、夜間には本製品を使用しないでください。

■購入日・型式名・製造番号の転記

購入年月日	
型式名	
製造番号	

●消耗部品や修理の時に必要となりますので、上記の欄に指定事項を記入してください。

■危険防止について

●運転操作・給油・点検・整備に関連した事故の大部分は、安全上の基本的注意事項や危険予知を怠ることにより生じます。誤った運転操作、不適正な給油、点検・整備は大変危険です。危険防止事項や注意事項をよく読んで、事故が発生しないよう心がけてください。

●本製品には特に重要な危険事項に対しシールが貼付されています。使用に際しては十分に理解のうえ守ってください。

●シールが見えなくなったり、はがれた場合は貼りかえてください。

■表示マークについて

●この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。
マーク付の説明は安全上特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

⚠ 危険	記載されている内容を守らないと、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことをしめします。
⚠ 警告	記載されている内容を守らないと、死亡や重大な事故が生じる危険があることをしめします。
⚠ 注意	記載されている内容を守らないと、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。
禁止	このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。
強制	このマークは、強制（必ずすること）を示します。

●注意事項に記載した内容も、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いづれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

1　安全上のご注意

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠ 危　険

禁止 ●正面ホッパー・サイドホッパー・吹出口の内部に手を入れないこと。
回転部に巻き込まれて傷害事故につながります。十分注意してください。
エンジンスイッチを「OFF」の位置にしても慣性によりすぐに刃物の回転は止まりません。刃物の回転が停止したのを確認した上で次の作業を行ってください。

強制 ●給油は換気の良い所で行い、火気の近くや、くわえタバコではしないこと。
燃料に引火する場合があり危険なので絶対にしないでください。

禁止 ●無理な供給はしないこと。
運転しながら供給物を引っ張ったり、押し込んだり、付着物を手で取ったりしないでください。回転部に巻き込まれると傷害事故につながります。

禁止 ●エンジンの熱い間は給油をしないこと。
エンジンを停止し、完全に冷えてから給油をしてください。エンジンが熱い間はやけど、火災の原因となります。

⚠ 警　告

禁止 ●換気の悪い場所で作業しないこと。
室内および換気の悪い場所での作業は排気ガスが充満し人体に有害です。風通しの良い所で作業してください。

禁止 ●燃料をタンクからこぼさないこと。
燃料は規定以上入れないでキャップは確実に閉めてください。火災の原因となります。又万一こぼれた時は、きれいに拭き取ってください。

禁止 ●エンジンの周囲にホコリ、ゴミを蓄積させないこと。
エンジンの周囲はいつもきれいにし、過熱による火災を防止してください。

禁止 ●エンジンの冷却ファンを草、枝類、ワラ等で目詰まりさせないこと。
オーバーヒートの原因となり火災が発生することになりますのでエンジンは、絶えず清掃してください。

強制 ●やけどに注意
エンジンやマフラー、ベルトカバーBは高温になりますので、運転中や運転停止直後は触らないでください。やけどの原因になります。

⚠ 注　意

■作業前の安全

強制 ●粉砕作業は必ず平坦な場所で行うこと。
不安定な場所や転倒の恐れがある傾斜地には置かないでください。

禁止 ●吹出口の方向は人や家畜に向けないこと。

禁止 ●吹出口をのぞいたり近寄ったりしないこと。
粉砕物が飛んで傷害事故になることがあります。

■作業中の安全

禁止 ●走行しながらの作業はしないこと。
走行しながらの作業は危険ですので、絶対にしないでください。

強制 ●停止中、作業中、機械から離れるときはエンジンを停止すること。
機械は安定した場所に置きエンジンを停止してください。

強制 ●運転中はカバー取付けを厳守すること。
カバーを外して運転すると、回転部に体が触れたり、巻き込まれて傷害事故につながりますので運転中は絶対にカバーを外さないでください。又、カバーが変形したりシールがはがれたときは、必ず交換してください。

■整備作業の安全

強制 ●整備作業時は運転停止すること。
本製品の点検・整備・掃除をするときには、必ずエンジンを停止して刃物が停止したことを確認してから行ってください。刃物や回転部に巻き込まれて傷害事故につながることがあります。

強制 ●刃物に注意すること。
刃物の点検や研磨・交換は厚手の皮手袋を着用して行ってください。刃物に手が触れて傷害事故つながることがあります。

■その他安全上の基本的事項

禁止 ●本製品は、子供・過労ぎみの人・体調がすぐれない人・使い方を理解していない人・飲酒している人・妊娠している人・体の不自由な人は使用しないでください。

強制 ●作業は作業しやすい袖裾のしまった作業服、すべらない靴、安全帽子、保護メガネ、皮手袋を着用して作業してください。

強制 ●作業は体力を消耗します。長時間の作業を避け適当な休憩を取るようにしてください。

強制 ●二人以上で作業するときは、安全のために合図を決め、声をかけ合って作業をしてください。

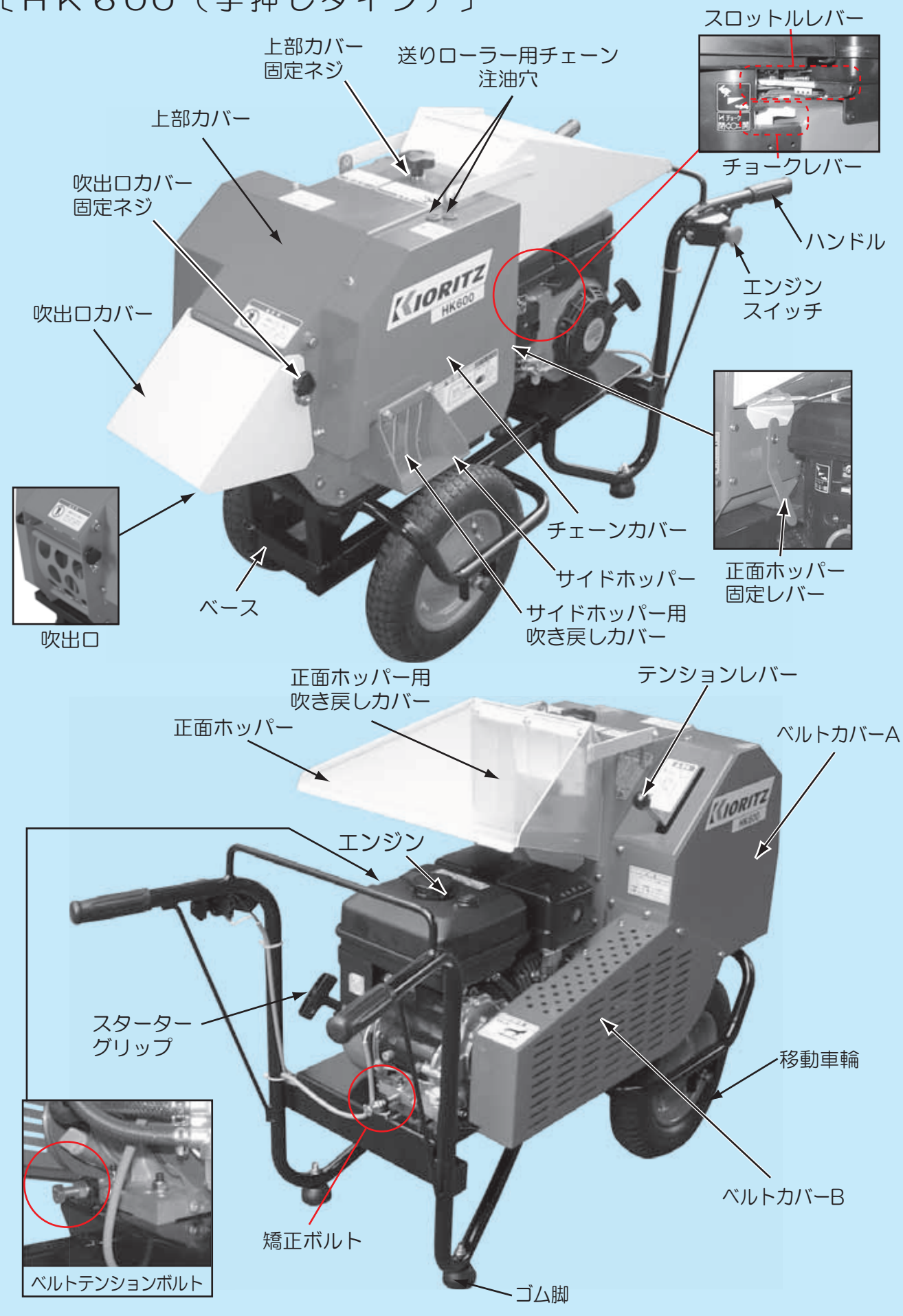
強制 ●機械を他の人に貸すときは、取扱方法をよく説明し「取扱説明書」を読むように指導してください。

2　仕様

型　　式			HK600 (手押しタイプ)
外形寸法	全長 mm		1,390
	全幅 mm		565
	全高 mm		850
	乾燥質量		110kg
	破砕方式		ナイフ刃及びフリースイングハンマー
破砕装置	主軸回転数min^{-1}		2,700
	処理能力kg /h		300～400
	チッパー部	ナイフ数	2
		最大処理径(mm)	最大直径60
	シュレッダー部	ハンマ数	22
		最大処理径(mm)	最大直径50
		供給方式	自動送りローラー
走行装置	方　　式		手押し
	移動車輪		3.25/3.00-8×2
エンジン	名　　称		空冷4サイクルOHV式
	型　　式		GB180LN－655
	総排気量(cc)		181
	連続定格出力KW(PS)		3.4（4.7）
	最大出力KW(PS)		4.6（6.3）
	最大トルク L型 N·m/rpm(kgf·m/rpm)		23.1（2.36）/1400
	回転方向		左（軸出力側より見て）
	点火方式		無接点マグネット点火
	気化器		フロート式・蝶弁・横向き吸込式
	使用潤滑油		エンジンオイルSE級以上SAE#30、寒冷時SAE#20
	潤滑油量（L）		0.6
	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン
	燃料タンク容量(L)		3.6
	始動方式		リコイルスタータ式
	乾燥質量		15.5kg

3　各部の名称

〔ＨＫ６００（手押しタイプ）〕



※エンジンは別に添付されていますエンジン取扱説明書を参照してください。

4　シールの貼付位置

安全に作業いただくために下記のシールの注意事項を守ってください。シールは汚れや、破損のないように保ち、もし破損、紛失した場合は新たに貼り直してください。

危険シール４
固定ボルト注意！

危険
固定ボルト注意！
●上部カバーを開けるときは、エンジンを止め回転部が完全に止まったことを確認後行ってください。
●エンジンを始動するときは、固定ボルトが完全に締めてあることを確認後始動してください。

危険シール３
巻き込まれ危険！

危険
巻き込まれ危険！
作業中および刃物の回転中は、正面ホッパーには絶対に手を入れないでください。

注油シール

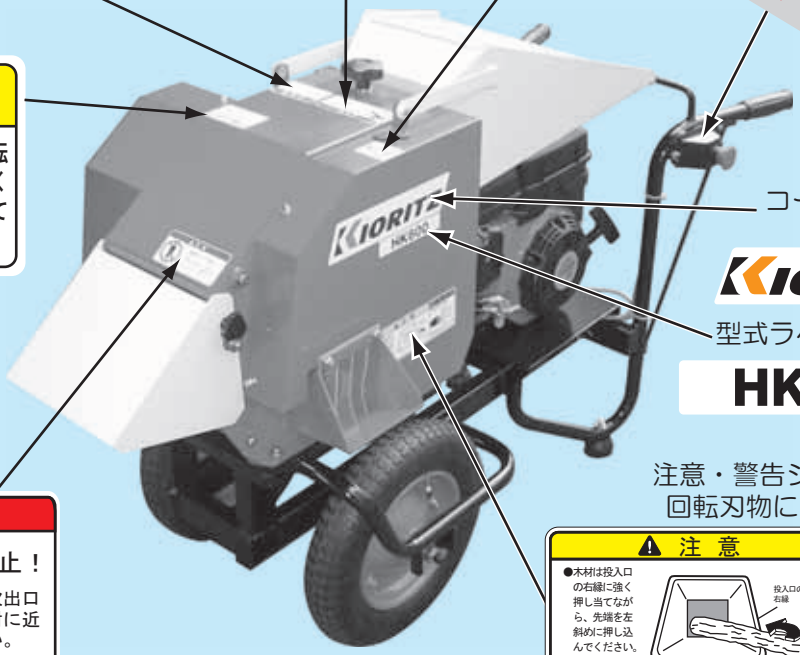
注油

エンジンスイッチシール

停止スイッチ　押
危険・異常が発生した時はエンジンを停止してください。
復帰はスイッチを右に回す。

注意シール
取扱説明書

注　意
傷害事故防止のため、運転前に必ず取扱説明書をよく読んで操作をよく理解して安全に作業してください。



コーポレートラベル

KIORITZ

型式ラベル

HK600

危険シール
運転中立入禁止

危険
運転中立入禁止！
作業中、吹出口（吹出口カバー付近）に絶対に近づかないでください。

注意・警告シール
回転刃物に注意

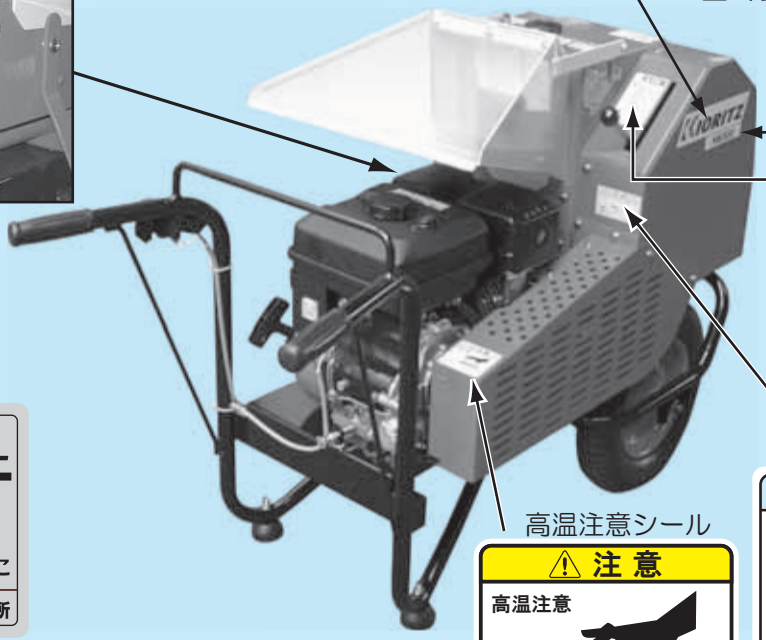
注　意
●木材は投入口の右縁に強く押し当てながら、先端を左斜めに押し込んでください。
投入口の右縁

警　告
回転刃物に注意
●木材を押し込む時、ガードより奥に手を入れないでください。



コーポレートラベル

型式ラベル



警告シール
テンションレバー

警　告
●作業終了後はテンションレバーを必ず切ってください。㊉にしておくとベルトを破損する可能性があります。
●テンションレバーの㊉操作は、エンジンの回転を低速にして操作してください。高速回転時に㊉操作するとベルトが破損する可能性があります。
㊉テンションレバー㊀

品番シール

KIORITZ
共立シュレッダー
型　式/ HK600
製造番号/
販売元/ 株式会社やまびこ
製造元/ 株式会社 本宏製作所

仕様シール

仕　様
エンジンオイル：4サイクル用　0.6L
Vベルト：
エンジン…中間軸：レッドBR−45
中間軸……主　軸：オレンジLB−35
中間軸…送りローラー：オレンジLA−39

高温注意シール

注　意
高温注意
さわるとやけどをするおそれがあります。

※エンジンは別に添付されていますエンジン取扱説明書を参照してください。

5　組立部品明細

組立前に下記の部品明細で部品を確認してから組み立ててください。



本体…１台

吹出口カバー…１個

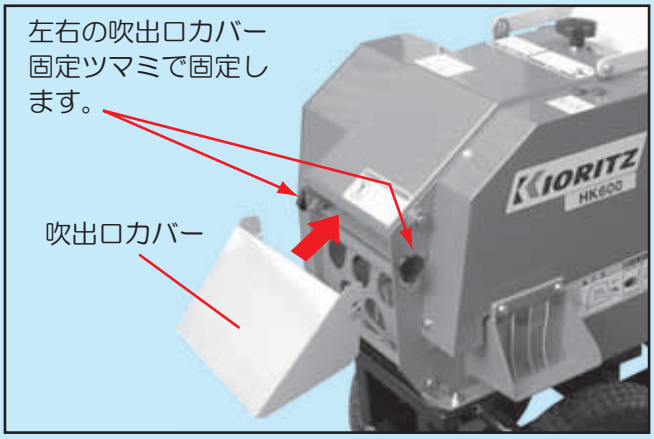


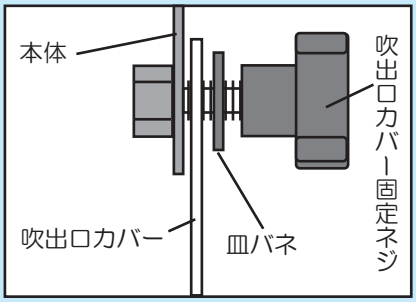
≪付属品≫
防塵メガネ…１個

部　品　名	数量
本　　体	1
吹出口カバー	1
防塵メガネ	1

6　組立方法

(1)吹出口カバーを取り付けます。





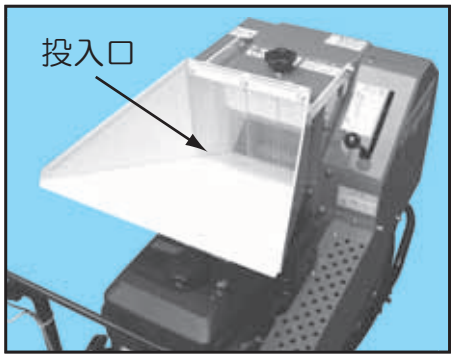
吹出口カバーを取り付ける時、皿バネが吹出口カバーの外側に来るようにセットしてください。

①粉砕物の出口の吹出口のカバーです。
　使用しない時は吹出口カバー固定ネジを緩めると簡単に取り外すことが出来ます。
※使用時は吹出口カバーをセットした状態で作業を行ってください。

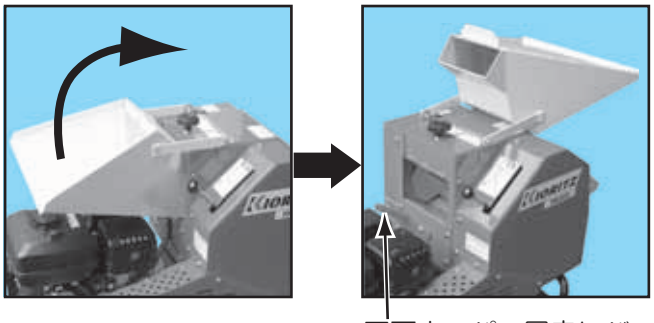
7　機能と操作

(1)正面ホッパー

①枝等の投入口です。投入した枝等は直接粉砕部に入り、粉砕されます。
※処理可能最大径：φ５０㎜迄

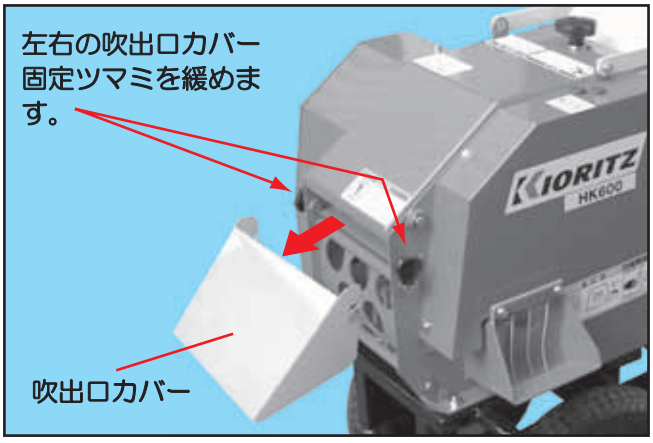


②正面ホッパーは正面ホッパー固定レバーを解除すると、簡単に跳ね上げることが出来ます。
※使用時は正面ホッパーをセットした状態で作業を行ってください。



(2)吹出口カバー

①粉砕物の出口の吹出口のカバーです。使用しない時は吹出口カバー固定ネジを緩めると簡単に取り外すことが出来ます。
※使用時は吹出口カバーをセットした状態で作業を行ってください。

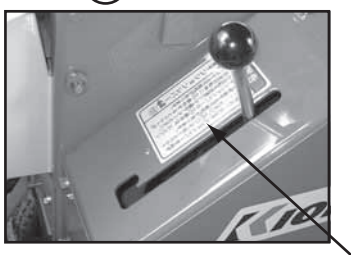


(3)送りローラー

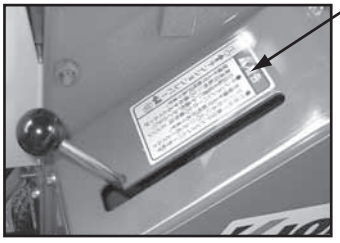
投入した枝等をシュレッダー内部に送り込むローラーを装備していますので、枝等を強く押し込む必要がなく、安全に粉砕作業ができます。

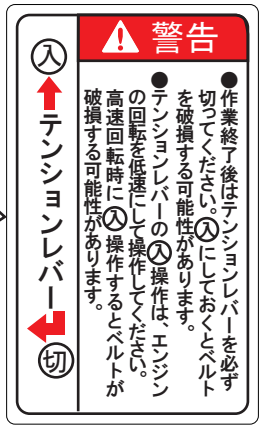
①送りローラーの運転切替え
テンションレバーを㊥の位置にすると送りローラーが回転します。㊦の位置にすると、送りローラーの回転が停止します。
粉砕作業の休止中や移動中、又はエンジンに過負荷がかかったときは㊦にして送りローラーの回転を停止してください。エンジン回転が上がったらスロットルレバーでエンジン回転を下げ、テンションレバーを㊥にして作業を再開してください。

㊥の状態



㊦の状態





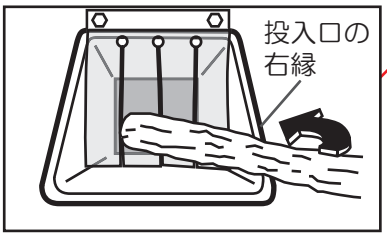
(4)サイドホッパー

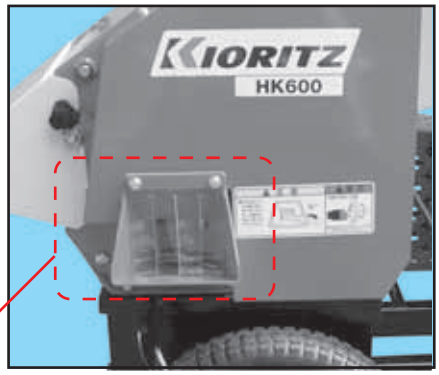
①太・中径木用の投入口です。投入した木は、サイドカッターで薄く削られたあと粉砕されます。

※処理可能最大径：６０㎜迄

※注意

サイドホッパーの右縁に処理材を押し当てながら、先端を左斜めに押し込んでください。





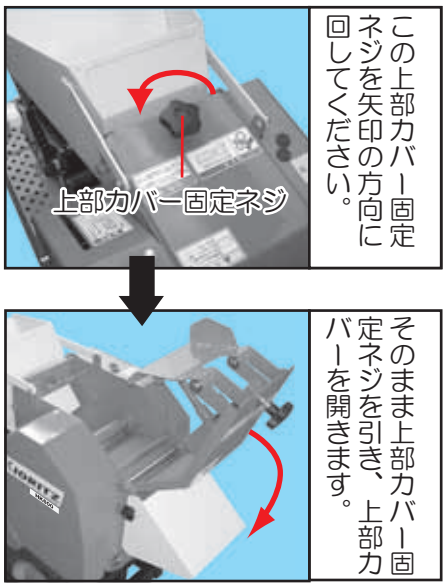
(5)上部カバー

①枝や粉砕物が詰まったときに上部カバーを開けて、シュレッダー内部の枝や粉砕物を取り除くことが出来ます。

⚠ 危険：けが

強制

上部カバーを開ける場合はテンションレバーを(切)の位置にして、エンジンを止め刃物の回転が止まった事を確認の上作業を行ってください。



8　作業準備

(1)作業に適した服装をしてください。

⚠ 警告：巻き込まれ注意

強制 ●軍手など、引っかかりやすいものを着用しないで、皮手袋を着用してください。

禁止 ●ダブダブの服、装飾品、首に掛けたタオルなど、シュレッダーの部品及び投入する枝等に引っかかる可能性のあるものは、着用しないでください。

⚠ 注意：けが

強制 ●粉砕物から目を守るために保護メガネを装着してください。

強制 ●安全のために、ヘルメットと皮手袋を着用してください。

(2)運転の準備

⚠ 注意：火災

強制 ●給油中は、絶対に火気を近づけないでください。

強制 ●燃料をこぼしたときは、必ず拭き取ってください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

①エンジンオイルを給油、又は補充してください。
②エンジンの燃料タンクに自動車用無鉛ガソリンを給油してください。
③本体の上部にある注油穴から、使用前に必ず送りローラーチェーンに注油してください。（油さしで適宜）



9　始業前点検

⚠ 注意：火災・やけど・けが

強制 ●点検時は必ずエンジンを停止し、絶対に火気を近づけないでください。また、エンジンが完全に冷えていることを確認してから行ってください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

①各部が確実に取り付いているか（脱落、ネジの緩みなど）、及び損傷、変形がないかを点検してください。
②各操作部、及び駆動部が正常に作動するかを点検してください。

１０　移動・設置

⚠ 警告：排気ガス中毒

禁止 ●室内・トンネルなどの換気の悪いところには、設置しないでください。

⚠ 注意：けが、火災

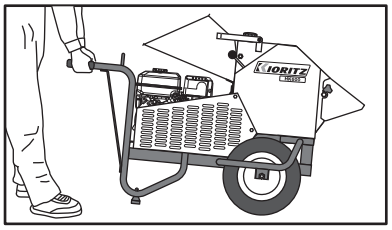
強制 ●作業者以外の人や動物を作業領域に近づけないでください。

強制 ●エンジンの排気口、シュレッダーの吹出口側に障害物がないことを確認してください。

強制 ●車輪には車輪止めをしてください。

（1）移動方法

①ハンドルを持ちながら移動してください。



（2）設置

①作業領域に障害物がなく、水平で安定した場所に設置してください。

１１　作業

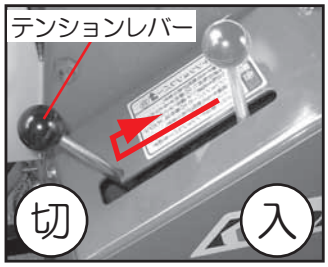
（1）始動

⚠ 警告：巻込まれ注意

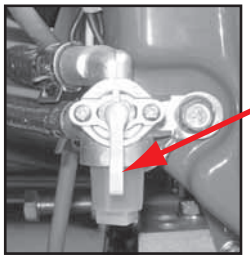
禁止 ●駆動ベルトに手や足を近づけないでください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

①テンションレバーを「切」にしてください。

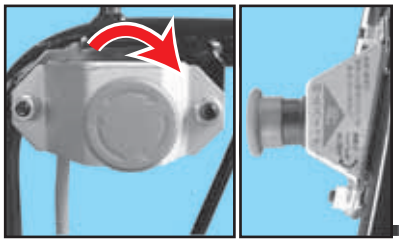


②エンジンの燃料コックを開いてください。

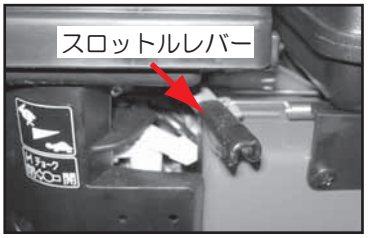


コックを左の写真の位置にしてください。

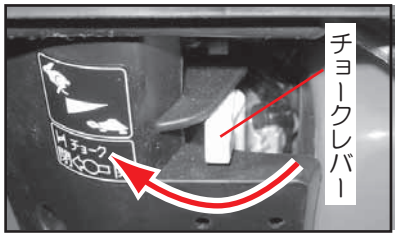
③エンジンスイッチを矢印の方向に回して「ON」にしてください。



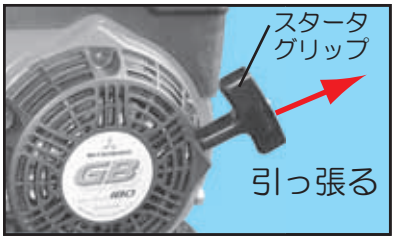
④スロットルレバーを中間位置にしてください。



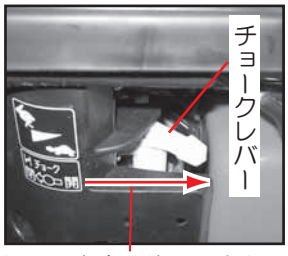
⑤チョークレバーを全閉の位置にしてください。エンジンが暖まっている時は全開にしてください。



⑥スタータグリップを圧縮位置まで軽く引き、この位置から引っ張てください。

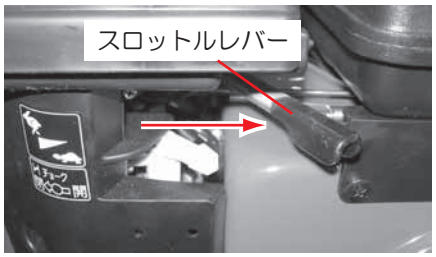


⑦エンジンがかかったら、チョークレバーを徐々に開き、最後は全開にしてください。



矢印の方向に徐々に動かしていきます。

⑧スロットルレバーを低速側にして、5～10分程度暖機運転を行ってください。



■異常音、異常振動がないか確認してください。

(2)作業

⚠ 警告：巻込まれ注意

禁止 ●運転中は、送りローラーに手を近づけないでください。

強制 ●軍手など、引っかかりやすいものを着用しないで、皮手袋を着用してください。

⚠ 警告：回転刃物に注意

禁止 ●運転中及び刃物の回転中は、正面ホッパー及びサイドホッパーには絶対に手を入れないでください。

強制 ●運転中は、吹出口（吹出口カバー付近）に絶対に近づかないでください。また、吹出口に溜まった粉砕物を除去する場合は、必ずエンジンを止めて刃物の回転が完全に止まったことを確認してから作業してください。

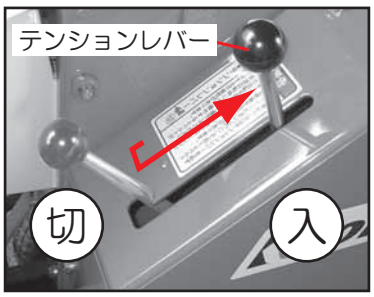
強制 ●溜まった粉砕物を除去する場合は必ず皮手袋を着用してください。

⚠ 注意：けが

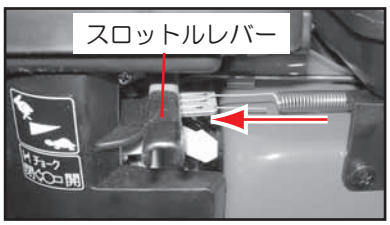
強制 ●目を守るために保護メガネを着用してください。

強制 ●作業者以外の人を、作業領域に近づけないでください。

①テンションレバーを「入」の位置にしてください。



②スロットルレバーを高速側にしてください。



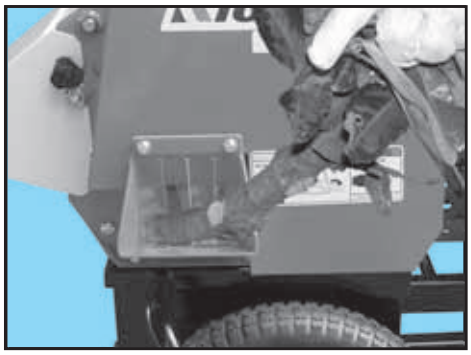
③枝葉のある処理材は正面ホッパーに投入して粉砕してください。


処理可能最大径：φ５０㎜迄

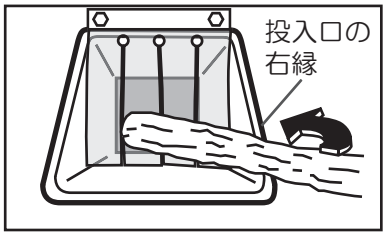
■注意事項

●投入時に手を巻込まれないために、正面ホッパー内には手を入れないでください。
●植物の粉砕以外の用途には使用しないでください。
●エンジンに過負荷がかかったときは、テンションレバーを「切」の位置にして送りローラーの回転を停止してください。
●危険な場合は、エンジンスイッチを「ＯＦＦ」にしてエンジンを停止してください。
●供給物の中に、石、金属、ビニール製品等が混入していると、思わぬ事故や機体の破損を招く恐れがありますので、十分注意してください。

④太枝、中径枝はサイドホッパーに押し込んで粉砕してください。
処理可能最大径：６０㎜迄



※注意
サイドホッパーの右縁に処理材を押し当てながら、斜めに押し込んでください。

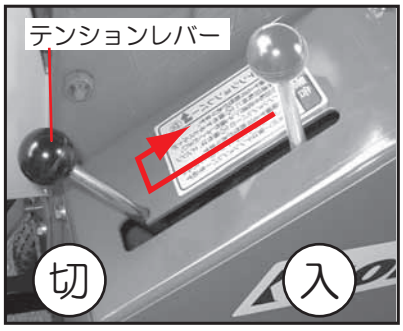


■注意事項

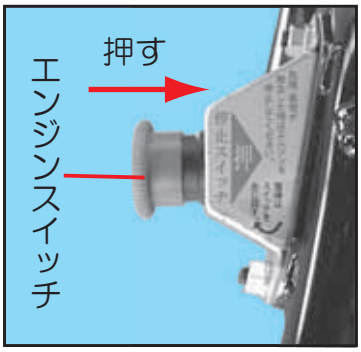
●投入時に手を巻込まれないために、サイドホッパー内には手を入れないでください。
●木材の粉砕以外の用途に使用しないでください。
●エンジンに過負荷がかかったときは、テンションレバーを「切」の位置にして送りローラーの回転を停止し、シュレッダー内の枝葉を粉砕してください。
●危険な場合は、エンジンスイッチを「OFF」にしてエンジンを停止してください。
●供給物の中に、石、金属、ビニール製品等が混入していると、思わぬ事故や機体の破損を招く恐れがありますので、十分注意してください。

（４）過負荷によってエンジンが停止した時は。

①テンションレバーを「切」の位置にしてください。



②エンジンスイッチを押して「OFF」にしてください。

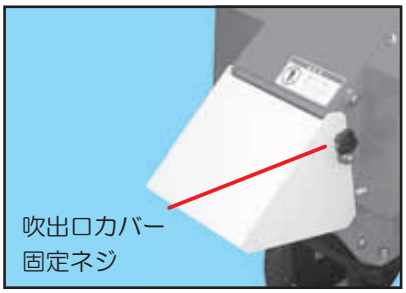


③刃物が完全に停止していることを確認したら、上部カバー固定ネジを回します。

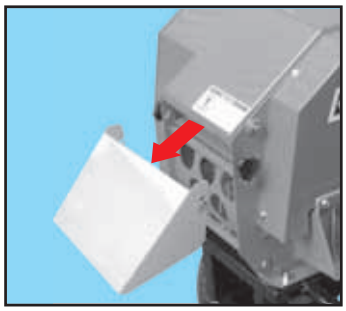


④吹出口カバーを外しスクリーンを開きます。

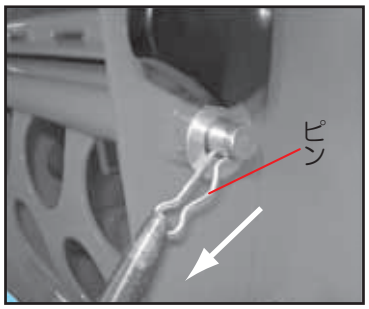
a.
吹出口カバーを固定している左右の固定ネジをゆるめます。



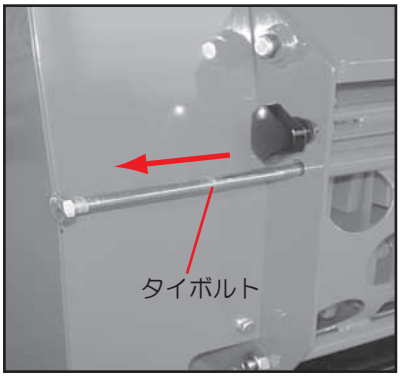
b.
吹出口カバーを外します。



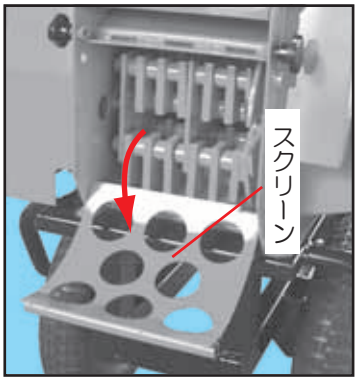
c.
スクリーンを固定しているタイボルトのピンを外します。



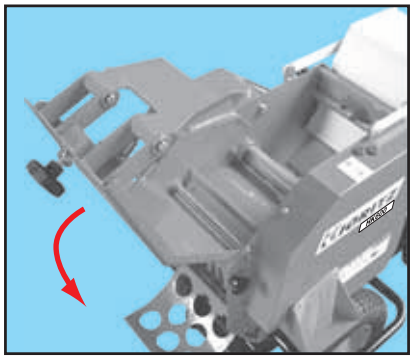
d.
タイボルト引き抜きます。



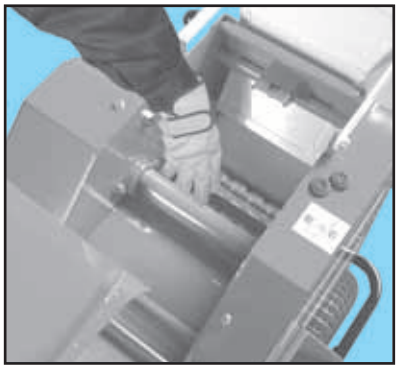
e.
スクリーンを開きます。



⑤上部カバーを開きます。

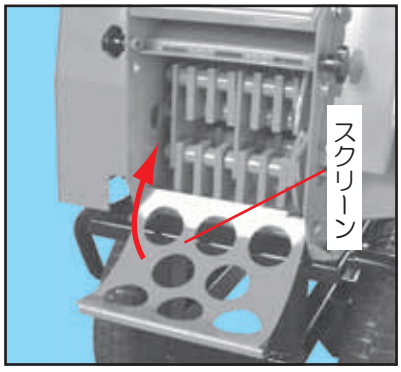


⑥内部の粉砕物を取り除いてください。
送りローラー・ハンマーに注意してください。
※このとき皮手袋を着用してください。

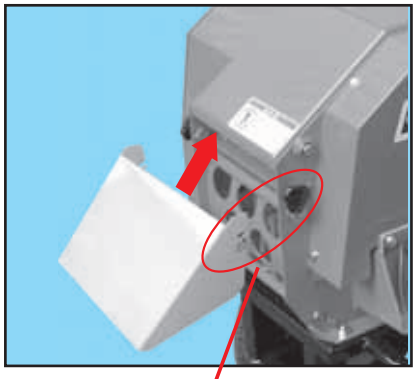


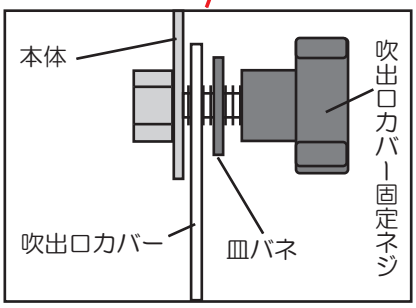
⑦粉砕物を取り除いたら「⑤吹出口カバーを外しスクリーンを開きます。」の逆の工程でスクリーンを閉めて固定してください。

a.
⑤のe～dの逆のやり方でスクリーンを閉じてください。



b.
吹出口カバーを取り付けます。





吹出口カバーを取り付ける時、皿バネが吹出口カバーの外側に来るようにセットしてください。

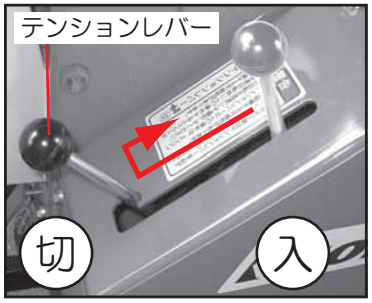
⑧上部カバーを閉めて上部カバー固定ネジを締めてロックします。



⑨再度お使いになる場合は、１１作業の(１)始動の順番でエンジンをかけて作業を再開してください。

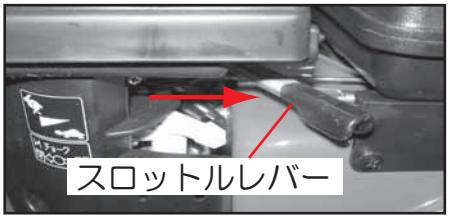
(4)停止

①テンションレバーを「切」の位置にしてください。

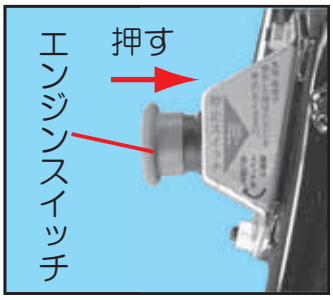


②本体の中の粉砕作業が完全に終了したことを確認してください。

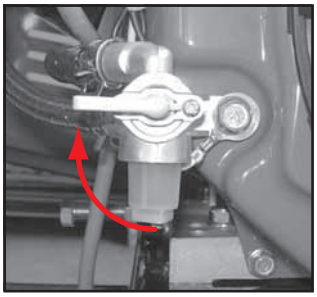
③スロットルレバーを低速側にして、３分間程度、冷気運転を行ってください。



④エンジンスイッチを押し「OFF」にして、エンジンを停止してください。



⑤エンジンの燃料コックを閉じてください。



(5)掃除

⚠ 注意：やけど・けが

強制 ●エンジンが停止し刃物が完全に停止していることを確認してください。

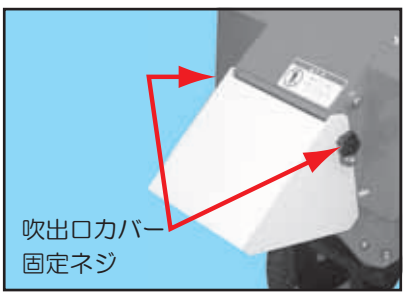
強制 ●本機が十分冷えてから行ってください。

強制 ●掃除をする際は皮手袋を着用してください。

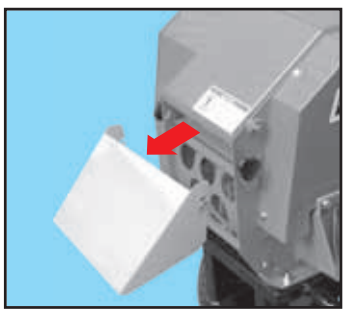
■作業終了後は、シュレッダー内部の掃除をしてください。

①吹出口カバーを外しスクリーンを開きます。
スクリーンの取り外しはP－13「⑤吹出口を外しスクリーンを開きます。」を参照してください。

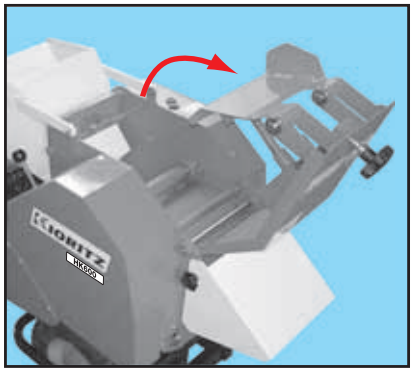
a.
吹出口カバーを固定している左右の固定ネジをゆるめます。



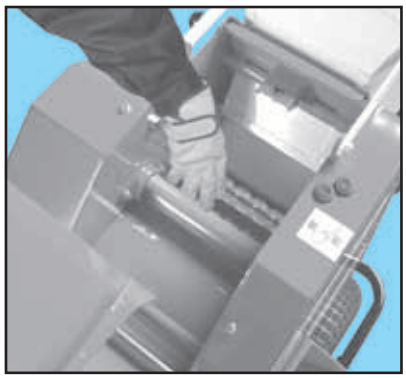
b.
吹出口カバーを外します。



②上部カバーを開きます。

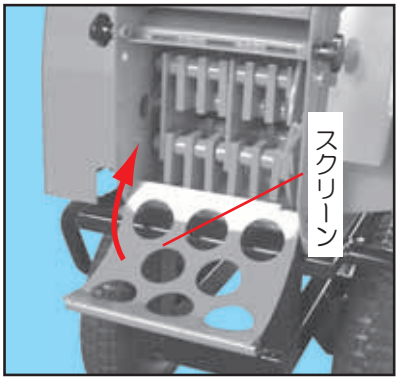


⑥内部の粉砕物を取り除いてください。
送りローラー・ハンマーに注意してください。
※このとき皮手袋を着用してください。

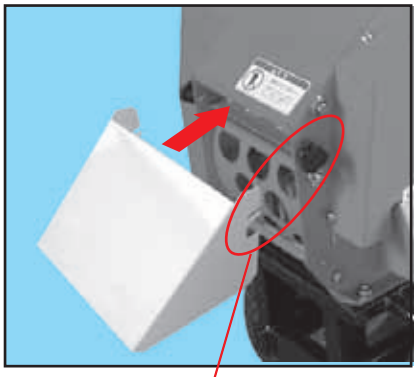


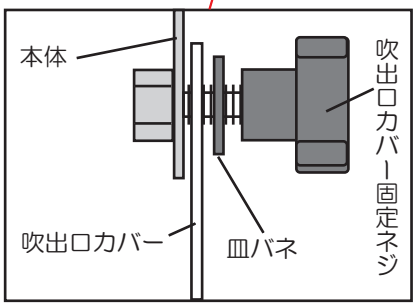
⑦粉砕物を取り除いたらP-13「⑤吹出口カバーを外しスクリーンを開きます。」の逆の工程でスクリーンを閉めて固定してください。

a.
⑤のe～dの逆のやり方でスクリーンを閉じてください。



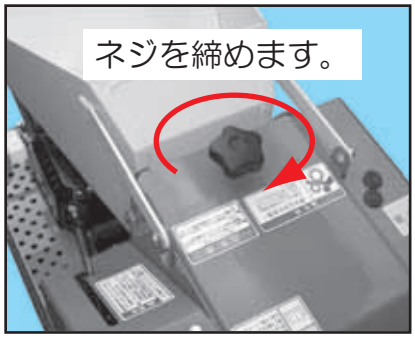
b.
吹出口カバーを取り付けます。





吹出口カバーを取り付ける時、皿バネが吹出口カバーの外側に来るようにセットしてください。

⑧上部カバーを閉めて上部カバー固定ネジを締めてロックします。



⑨再度お使いになる場合は、P-10「１１作業」の「(1)始動」の手順でエンジンをかけて作業を再開してください。

１２　点検・整備

⚠ 注意：やけど・けが

強制 ●必ずエンジンを停止してください。

禁止 ●絶対に火気を近づけないでください。

強制 ●エンジンの停止直後は、エンジンやマフラー、ベルトカバーBが高温になっていますので、冷えてから点検・整備を行ってください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

(1)注油

①シュレッダーのチェーンカバーに、送りローラー用チェーン注油穴がありますので、ご使用前に必ず注油してください。

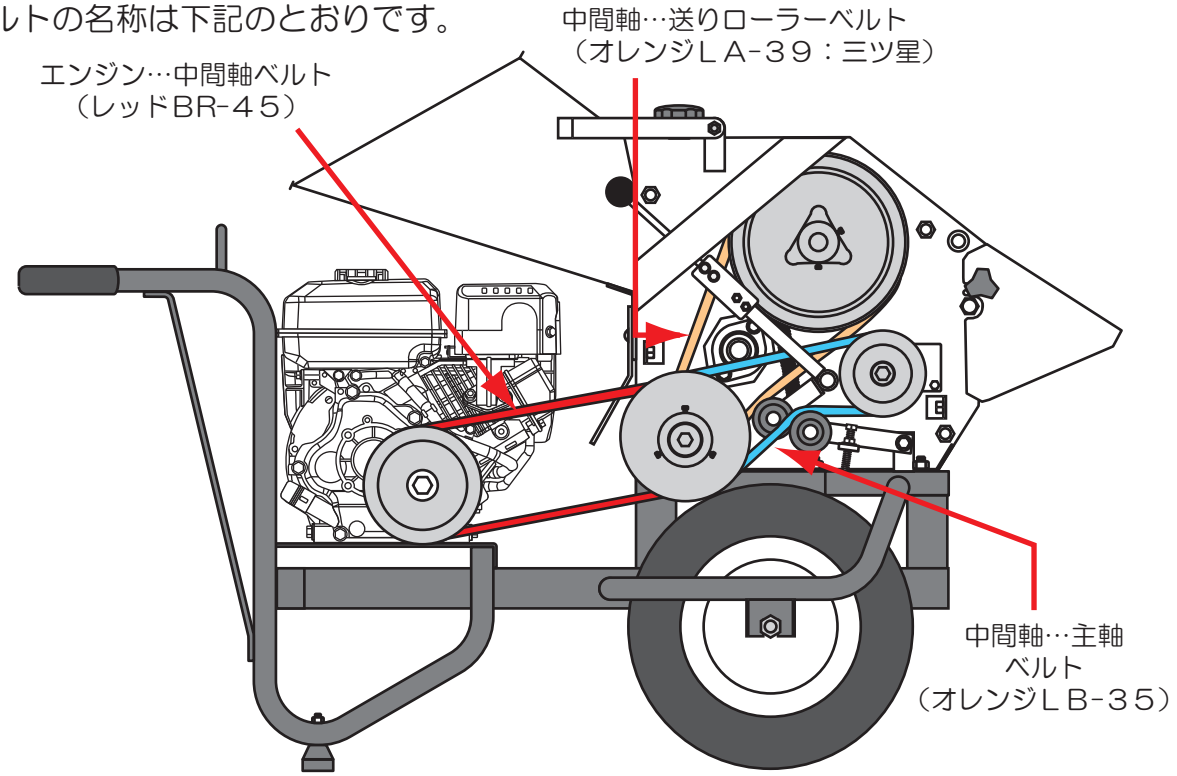


（２）Ｖベルトの点検

①Ｖベルトの名称

本機は３本のＶベルトを使用しています。

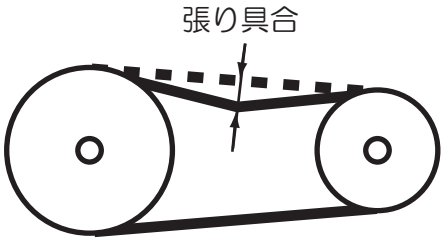
Ｖベルトの名称は下記のとおりです。



②Ｖベルト点検方法

ａベルトカバーＡ・Ｂを外します。

ｂ2本のＶベルトを手で押して張り具合を確認します。



Ｖベルト	張り具合
エンジン…中間軸ベルト	1.5㎏で5mm程度のたわみ
中間軸　…主軸ベルト	2.0㎏で5mm程度のたわみ

③調整方法

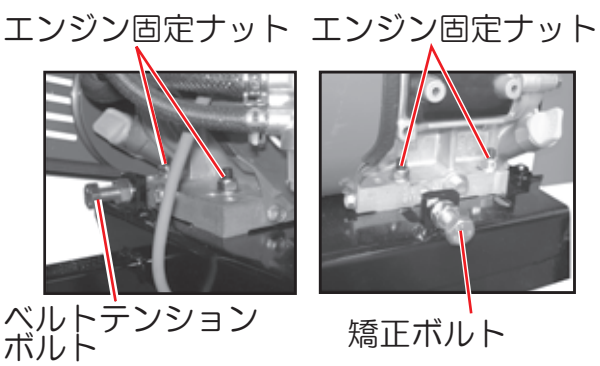
Ｖベルトの張りがゆるくなりましたら次の説明に従ってＶベルトの張りを調整してください。

①エンジン…中間軸ベルト

ａエンジンを固定してある４箇所のエンジン固定ナットをゆるめてください。

ｂベルトテンションボルトでエンジンを次ページのイラストの矢印の方向に押して、Ｖベルトを緊張してください。

ｃエンジンが斜めになっていないか確認してください。斜めになった場合は反対側の矯正ボルトで直して、Ｖベルトプーリー軸に対して直角になるように張ってください。

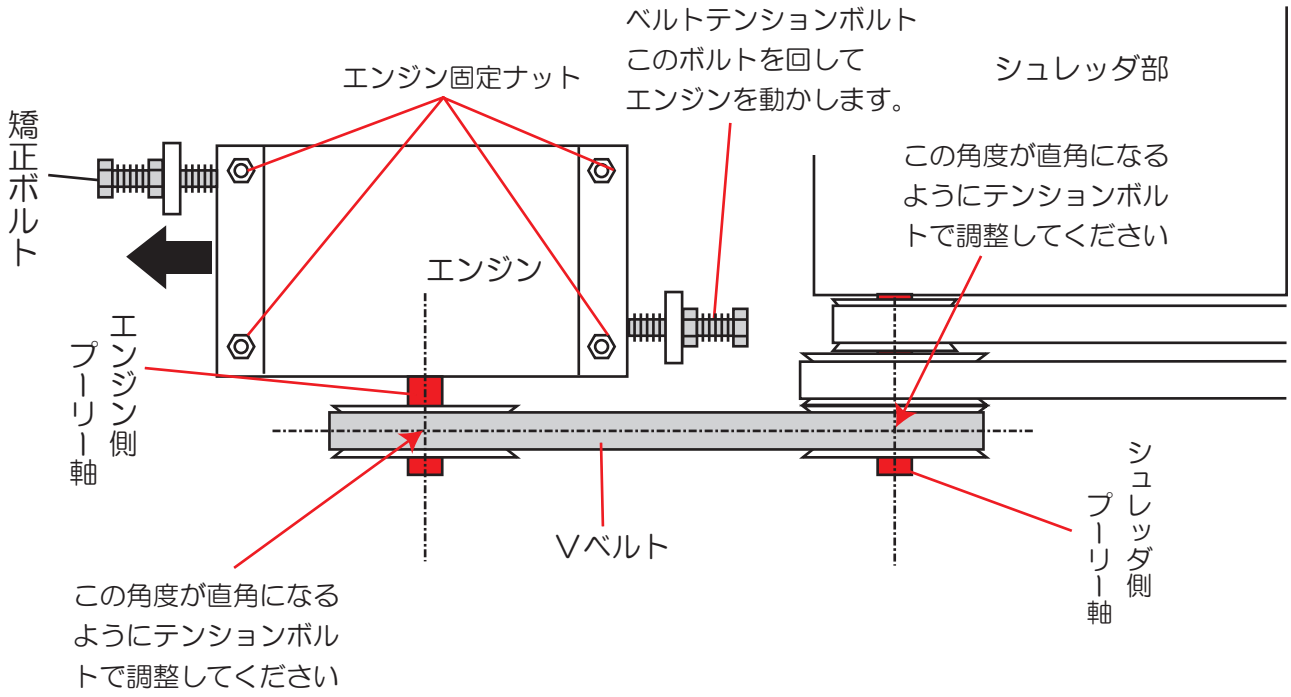


■注意事項

Vベルトを緊張する場合は、Vベルトがプーリー軸に対して直角になるように調整してください。直角がずれるとVベルトが早く痛んでしまいます。

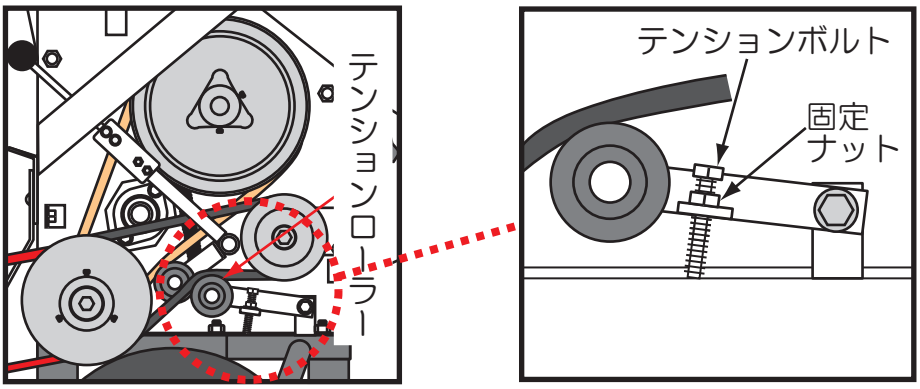
d調整が終了したらエンジン固定ナットを締め付けてください。

eVベルトの調整終了後、ベルトテンションボルトと矯正ボルトを各5㎜位もどしてダブルナットを締め付けてください。



②中間軸…主軸ベルト

テンションローラーをボルトで調整します。



aテンションローラーを固定してある固定ナットを緩めます。

bテンションボルトを締めテンションローラーの位置を動かします。Vベルトの張りが適正になるようにテンションボルトを回し調節します。

cVベルトの調節が終わったら固定ナットを締めてテンションボルトを固定します。

③中間軸…送りローラーベルト

テンションレバーの操作により調整されます。

④Ｖベルトに亀裂や磨耗等が発生しましたら取り替えてください。

≪Ｖベルト規格≫

エンジン―中間軸　　：レッドＢＲ－４５

中間軸――主軸　　：オレンジＬＢ－３５

中間軸――送りローラー：オレンジＬＡ－３９（三ツ星）

⑤Ｖベルトの交換方法……エンジン…中間軸

※詳しい調整方法は(2)Ｖベルトの点検の調整方法を参考にしてください。

ａエンジン固定ナットを緩め、エンジンを動かしＶベルトを外します。

ｂ新しいＶベルトを取り付けます。

ｃＶベルトの交換を行った後に、ベルトテンションボルトでエンジンを押してＶベルトを緊張してください。

ｄエンジンが斜めになっていないか確認してください。斜めになった場合は反対側の矯正ボルトで直して、Ｖベルトプーリー軸に対して直角になるように張ってください。

ｅエンジン固定ナットを締め付けてください。

ｆＶベルトの交換終了後、ベルトテンションボルトと矯正ボルトを５㎜位もどしてダブルナットを締め付けてください。

■注意事項

Ｖベルトを緊張する場合は、Ｖベルトがプーリー軸に対して直角になるように調整してください。直角がずれるとＶベルトが早く痛んでしまいます。

●Ｖベルトの交換は、エンジン…中間軸、中間軸…主軸、中間軸…送りローラー用共にお買い求めの販売店での交換をお奨めいたします。

（３）チェーンの点検

①点検方法

ａチェーンカバー（Ｐ－４「各部の名称」を参照）を止めている３箇所のボルトを外し、チェーンカバーを外します。

ｂチェーンを点検して亀裂や伸びがないか点検してください。

ｃチェーンの中央を手で直角方向に動かし、「たるみ量」を確認してください。チェーンの「たるみ量」が多い場合はチェーンを調節してください。

ｄチェーンの交換は、お求めの販売店に申し付けてください。

①ローラーチェーン　呼び番号３５－７８リンク＋ジョイントリンク

②ローラーチェーン　呼び番号３５－８０リンク＋ジョイントリンク

②調節方法

①ローラーチェーン：呼び番号３５－７８リンク＋ジョイントリンクの調節の場合

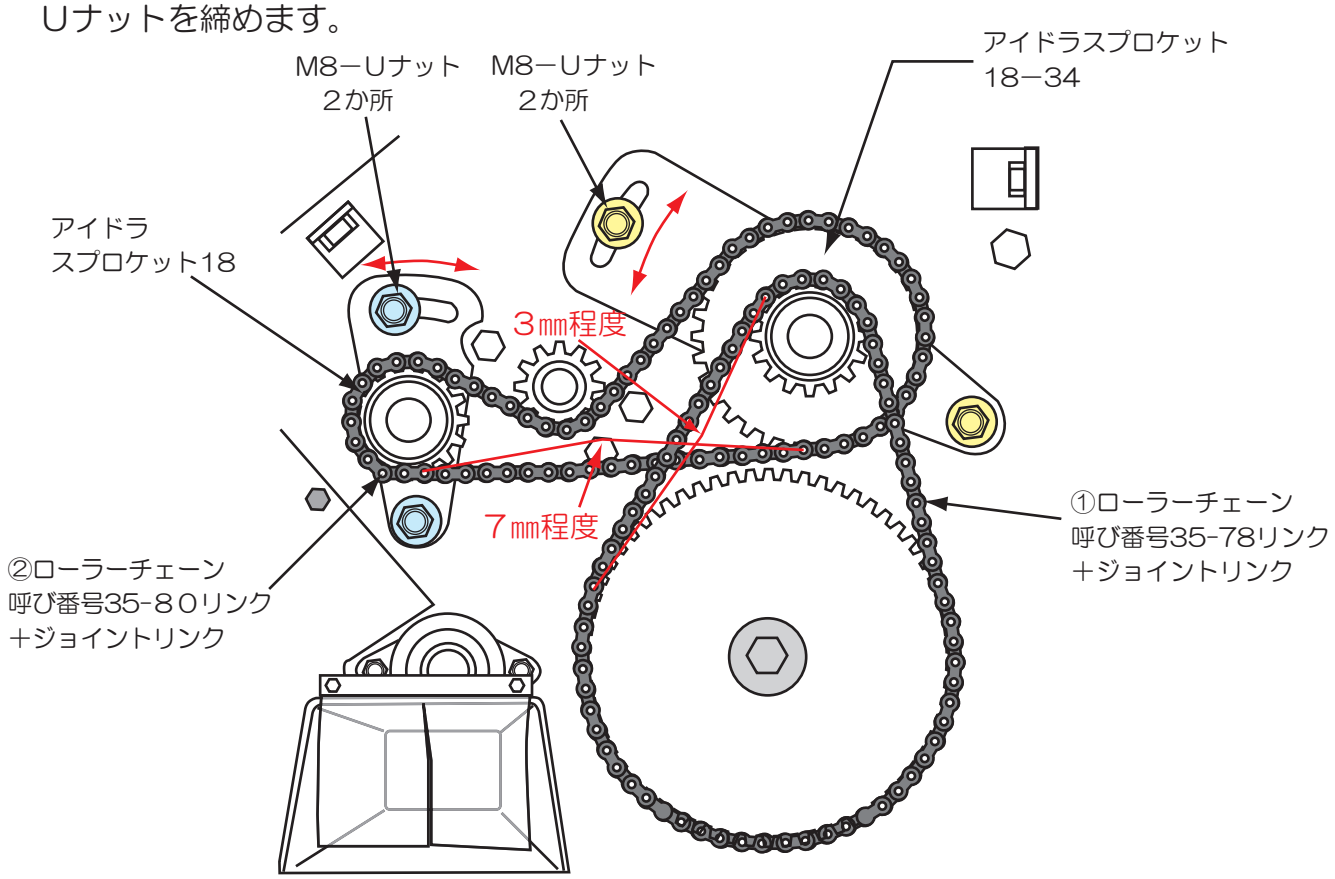
アイドラスプロケット１８及び１８－３４を固定しているＭ８－Ｕナット各２か所を緩めます。

アイドラスプロケット１８－３４の位置を調節しながら「たるみ量：３㎜程度」を確認してＭ８－Ｕナット（２か所）を締めます。

アイドラスプロケット１８の位置を確認しながら「たるみ量：７㎜程度」を確認しＭ８－Ｕナット（２か所）を締めます。

※チェーンを調整した場合、②のチェーンの張りも変わってくるので、必ず合わせて調整してください。

②ローラーチェーン：呼び番号３５－８０リンク＋ジョイントリンクの調整の場合
アイドラスプロケット１８を固定しているＭ８－Ｕナット(２か所)を緩め、アイドラスプロケット１８の位置を矢印の方向に調節しながら「たるみ量：７㎜程度」にしＭ８－Ｕナットを締めます。



●チェーンの交換は、お買い求めの販売店にご用命ください。

１３　長期保管

⚠ 注意：火災・やけど・けが

強制 ●整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

強制 ●整備を行うときは、シュレッダーの刃物が完全に停止していることを確認してください。

禁止 ●整備を行うときは、絶対に火気を近づけないでください。

強制 ●エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、冷えてから行ってください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

(１)格納整備

①本機を使用されまして、長期間使用せずに保管する場合は、本機を分解、清掃、修理整備を行っておき、次回の使用が支障なくできるようにしておきましょう。
②格納整備はお買い求めの販売店にご相談ください。
③格納整備の実施については使用状況により相違がありますが、だいたい次の項目に大別されます。
ａエンジン
本機からエンジンをおろしてオーバーホールをし、不良箇所は修理し、清掃、点検、調整をしてください。

ｂフリースイングハンマー部・サイドカッター部
おのおのきれいに清掃して変形等がないか確認してください。

④整備後の長期格納保管には、次の処置をしましょう。

ａエンジンの燃料タンク及びキャブレター内の燃料を完全に抜き取ってください。

ｂフリースイングハンマー部・サイドカッター部をきれいに清掃し、防錆油等を塗布してください。また、樹液が付いて落ちにくいときは、市販の樹液取スプレーを使用して樹液を落としてから防錆油を塗布してください。

ｃエンジンの固定ナット（４か所）を緩め、エンジンを移動させてＶベルトを緩めてください。

ｄチェーン等の稼動部に注油してください。

ｅ保管は風通しのよい、湿気の少ない場所へ防塵カバーを掛けて保管してください。

１４　トラブルの原因と処置

症　状		原　因	処　置
１、粉砕物が送り込まれない	a、送りローラーが回っていない	ベルトが弛んでスリップしている	ベルトを張り直す
		ベルトが切れた	ベルトを交換する
		ベルトが外れた	ベルトを掛け直す
		チェーンが切れた	チェーンを交換する
		チェーンが外れた	チェーンを掛け直す
	b、送りローラーは回っている	粉砕物が太すぎる	サイドカッターを使う
２、粉砕能力が落ちた		フリーハンマーが自在に回転しない	フリーハンマー取付部を掃除する
		ナイフが損傷・磨耗している	ナイフを組み替え、あるいは交換する
		フリーハンマーが損傷・磨耗している	フリーハンマーを組み替え、あるいは交換する
		ベルトが弛んでスリップしている	ベルトを張り直す
		ベルトが損傷・磨耗してスリップしている	ベルトを交換する
３、主軸が回らない		Ｖベルトが弛んでいる	Ｖベルトを張り直す
		Ｖベルトが損傷・磨耗してスリップしている	Ｖベルトを交換する
４、振動が大きくなった		各部のネジが弛んでいる	増し締めをする
５、粉砕部で異常音がする		粉砕部に石等、異物が入っている	粉砕部の破砕物や石等、異物を取り除く
６、エンジンが始動しない	a、リコイルは引ける		エンジンの取扱説明書を参照
	b、リコイルが引けない	粉砕部に残留物がある	上部カバーを開けて異物を取り除く
		上記以外の場合	エンジンの取扱説明書を参照
７、エンジンが停止しない		エンジンスイッチが破損している	エンジンスイッチを交換する

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

(C) 2010 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。